

第3期行財政改革プログラム 個別取組工程表

取組番号	1-4-1	取組項目名	使用料・手数料等の適正化				
所管	財政	局	財政	部	財政	課	
〔P〕 取組内容	実施内容	市内施設の状況の把握や他市の動向などを踏まえ、受益者負担の基本的な考え方を検討・整理し、受益者負担の見直しを行う。					
	目標	H30	施設の状況などを把握し、課題の整理を行うことで、受益者負担の基本的な考え方を整理する。				
		R1	受益者負担の基本的な考え方にに基づき、消費税率の改定を踏まえ、必要に応じて使用料・手数料の見直しを適宜、実施する。				
		R2	受益者負担の基本的な考え方にに基づき、必要に応じて使用料・手数料の見直しを適宜、実施する。				
〔D〕 実績・進捗状況	H30	市内施設の状況調査の分析や使用料等の改定に必要な事務手続きの調査、他政令市の動向などを踏まえて、スケジュールや受益者負担の基本的な考え方を検討・整理。					
		H30の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成			
	R1	使用料・手数料に関連する各種の条例改正を行い、消費税率の改定を踏まえた見直しを行った。					
		R1の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成			
		H30~R1の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成			
	R2	受益者負担の算定の考え方と算出方法など具体的な骨子を策定した。					
		R2の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成			
		H30~R2の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成			
	行革効果額の見込み及び実績		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		見込み	-	百万円	-	百万円	-
実績		-	百万円	-	百万円	-	百万円
〔C〕 評価	評価	B	〔基準〕 S:優良 A:良好 B:普通 C:不良				
	課題分析	R3年度に、受益者負担の基本的な考え方にに基づき、使用料・手数料の見直しを行う必要がある。					
〔A〕 改善策	R3年度に、使用料・手数料の見直しを行う際には、市全体の統一性を考慮しながら検討を行う。						
備考							